

舗装個別施設計画

令和6年4月

福岡県 宮若市

目 次

1 舗装の現状と課題

- 1. 1 管理道路の現状
- 1. 2 舗装の現状

2 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2. 1 舗装管理の基本方針
- 2. 2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2. 3 管理基準
- 2. 4 点検方法・点検頻度

3 計画期間

4 対策の優先順位（補修計画の方針）

5 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5. 1 診断結果
- 5. 2 対策の優先順位

1 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

管理延長と舗装延長は下記の通りである。

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		As舗装	Co舗装	
1級市町村道	60.37km	59.01km	0.17km	98.03km
2級市町村道	46.35km	45.64km	0.10km	98.68km
その他市町村道	358.85km	292.29km	4.57km	82.73km
計	465.57km	396.94km	4.84km	86.30km

1.2 舗装の現状

令和5年度において、宮若市が管理する1・2級市道及びその他市道のうち、主要路線の約125.2kmを対象に路面性状調査を実施し、舗装劣化の状況を把握しました。

なお、路面性状調査を行っていないその他市道については、職員によるパトロール等での点検を行いながら、必要に応じた修繕等を行っています。

2 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指します。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	1級市道、2級市道
分類Dの道路	上記以外市道

2.3 管理基準

路面性状測定車で測った「ひび割れ率」「わだち掘れ量」「平坦性 (IRI)」から「MCI 値(維持管理指数)」を算出する。

ランク	水準	判断基準
水準Ⅰ	$0.0 \leq MCI \leq 3.0$	早急に修繕が必要
水準Ⅱ	$3.0 < MCI \leq 4.0$	修繕が必要
水準Ⅲ	$4.0 < MCI \leq 5.0$	修繕が望ましい
水準Ⅳ	$5.0 < MCI$	望ましい管理水準

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状測定車 又は目視点検	5年に1回程度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

3 計画期間

該個別施設計画の計画期間は、令和7年度から令和11年度末までの5ヶ年とします。

4 対策の優先順位（補修計画の方針）

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

5 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

令和5年度に点検した125.2kmの診断結果は以下のとおり

	水準Ⅳ 望ましい管理水準	水準Ⅲ 修繕が望ましい	水準Ⅱ 修繕が必要	水準Ⅰ 早急に修繕が必要
分類Cの道路	58.9km	20.7km	12.9km	16.1km
分類Dの道路	4.8km	2.4km	2.8km	7.2km

5.2 対策の優先順位

損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し修繕の優先順位を決定する。決定にあたっては、管理基準 (MCI 値) 及び巡視等による現地確認を基に総合的に判断する。